

----- 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。 -----

平成15年2月

適正使用のお願い

鎮痛剤

サルソニン注射液



扶桑薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町1丁目7番10号

サルソニン注射液の使用について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

毎々弊社製品には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、アスピリン等のサリチル酸系製剤は急性上気道炎の解熱の適応を有しておりますが、鎮痛剤サルソニン注射液（サリチル酸ナトリウム）につきましては、解熱の適応を有していません。また、平成11年1月に使用上の注意改訂のお知らせを発行してご案内させていただきましたとおり、本剤は、15歳未満の水痘、インフルエンザの患者には原則として投与しないこととなっておりますのでご使用に際してご留意下さい。

インフルエンザが流行する時期にあたりまして、サルソニン注射液の「効能・効果」及び「使用上の注意」を今一度ご確認のうえ、適正にご使用くださるようお願い申し上げます。

以下に本剤の「効能・効果」及び関連する使用上の注意を抜粋しましたので、ご確認ください。

敬 白

サルソニン注射液 「効能・効果」及びインフルエンザに関連する使用上の注意

【効能・効果】

症候性神経痛

【使用上の注意】

2. 重要な基本的注意

- (1)サリチル酸系製剤の使用実態は我が国と異なるものの、米国においてサリチル酸系製剤とライ症候群との関連性を示す疫学調査報告があるので、本剤を15歳未満の水痘、インフルエンザの患者に投与しないことを原則とするが、やむを得ず投与する場合には、慎重に投与し、投与後の患者の状態を十分に観察すること。

[ライ症候群：小児において極めてまれに水痘、インフルエンザ等のウイルス性疾患の先行後、激しい嘔吐、意識障害、痙攣（急性脳浮腫）と肝臓ほか諸臓器の脂肪沈着、ミトコンドリア変形、AST(GOT)・ALT(GPT)・LDH・CK(CPK)の急激な上昇、高アンモニア血症、低プロトロンビン血症、低血糖症等の症状が短期間に発現する高死亡率の病態である。]

(2002年7月改訂(第3版)より抜粋)